



しゃきょう 2021年5月号 187号 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



5月5日～5月11日までは児童福祉週間です！

5月は節句やこどもの日など児童にまつわる行事がたくさんあります。昔は秋に行われた小学校の運動会も、今は多くの小学校で5月が主流になりました。三宅島では湯船のグラウンドにたくさんの鯉のぼりが泳ぎます。この鯉のぼりは島の方々から寄付されたもので、とても立派です。

国はこどもの日から1週間を児童福祉週間として、各地でイベントや啓発活動が行います。今年の児童福祉週間の標語は「あたたかい ことばがつなく ころのわ」香川県に住む11歳の小学生の作品です。この標語から私が連想したのは、昨年末のNHK紅白歌合戦で松任谷由美さんが歌った「やさしさに包まれたなら」です。

ちい ころ かみさま ふ し ぎ ゆめ
♪小さい頃は神様がいて、不思議に夢をかなえてくれた

ちい ころ かみさま まいにちあい とど
♪小さい頃は神様がいて、毎日愛を届けてくれた

この神様とはだれなのでしょう。私はすぐそばにいる大人たち、お母さんやお父さんなのだと思います。子どもにとり、身近な大人たちは神様のような不思議な暖かさや強さを持った存在に映るのでしょうか。すこし広げて、社会が子どもたちを「あたたかい」「やさしさ」で包むことで、未来を信じ希望を持てる子どもに成長するのでしょうか。

♪やさしさに包まれたなら きっと 目に写るすべてのことはメッセージ

という歌詞でこの歌は終わります。この世のあらゆることが「メッセージとしての価値」を持つのだと私は解釈します。

素敵なメロディーによって伝わる「あたたかい言葉」は人種や性差、国籍を超え私たちをつないでくれることでしょう。

令和3年度 三宅島社会福祉協議会事業方針

新型コロナウイルスの猛威は、昨年初めて国内感染者を認めてから1年以上経た現在でも衰えておりません。3月時点で国内累計の感染者数と死亡者はそれぞれ40万人と8,500人になり、世界では累計で1億2千万人超の感染者と265万人の死亡者となっております。

「新しい日常」に始まり、「ステイホーム」、私たちの生活様式、社会全体が大きく影響を受けています。三宅島社会福祉協議会においても様々な地域活動の実践が中止、延期となりました。

令和3年度においても「コロナ後」の見通しは持てず、事業計画の策定は困難を極めております。従いまして、基本的な事業計画は昨年度を継続いたします。

昨年度の実業方針の核として「個の尊重」「地域共生社会」「災害支援」をあげ、「共に生きる豊かな社会」を目指すことを宣言いたしました。「ステイホーム」、密を避けるといったコロナ禍での行動指針は福祉の実践では大きな制約を受けることとなりますが、「新しい日常」下でどのような福祉の実践が可能なのかを模索してまいります。

そして、あらゆる生活課題への対応と地域のつながりの構築を目指し関係機関と連携し、共に生きる豊かな社会を作ります。

令和3年度 三宅島社会福祉協議会予算

令和3年度の当初予算収支内訳は以下のとおりです。詳細な予算収支につきましては社協事務所にて確認いただけます。

◆収入

◆支出

会費収入	500	地域福祉推進事業	53,121
寄付金収入	1,180		
補助金収入	28,395		
受託金収入	13,849	介護保険事業	19,475
事業収入	1,984		
介護保険事業収入	20,659		
障がい者福祉サービス等事業収入	8,217	たすけあい資金事業	51
その他の収入	192		
◆収入合計	74,976	◆支出合計	72,647

(単位:千円)

令和2年度 重点目標

- あらゆる生活課題に関係機関と連携し、村民一人ひとりのニーズに寄り添った支援をしていきます。
- 介護保険による訪問看護事業を行います。関係機関との連絡調整に努め適切なサービスの提供を目指します。利用者が住み慣れた島で、その人らしく在宅で生活できるよう支援します。
- 地域活動支援センター等の障がい者福祉事業を三宅村より受託し、適切な運営に努め、内容の充実をはかります。高齢化する利用者へ、障がい福祉サービスの活用などを支援します。また、様々な社会資源を活用した生活支援と本人を主体とした選択肢を提供できるよう努めます。
- 令和2年度より、通院送迎サービスを三宅村の受託から社協の高齢者福祉事業の中で行い、サービスの内容をより充実したものにします。
- 福祉サービス利用援助事業のサービス内容を拡充し、成年後見制度利用に向けた支援や緊急一時事務管理対応等を行います。
- 福祉に関する啓発事業を実施し、住民の福祉への理解をすすめます。
- 三宅村老人クラブ連合会の円滑な運営を進めるための事務局機能を担います。また、単位老人クラブへの支援をいたします。
- 5地区の高齢者が集う会食会を実施し、交流の場やボランティアの受け入れや余暇活動を行い、高齢者の楽しみの場を増やします。
- 三宅村及び東京都社会福祉協議会の進める社会福祉事業を受託し、責任をもって運営し、社会福祉法人としての信頼性と専門性の維持向上に努めていきます。
- 近年、過去の想定を超える自然災害や感染症といった新たな脅威に対し、三宅村はじめ各機関と協力して災害時等福祉支援活動に協力します。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業・離職等による特例貸付のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの方へ、昨年3月より特例貸付を実施しています。

この貸付の申請期間が令和3年6月末日まで延長となりました。

貸付の内容は、緊急小口資金(最大20万円)及び総合支援資金(最大20万円を3ヵ月=60万)です。申請書類は三宅島社協にございます。内容の確認の上、東京都社会福祉協議会(東社協)に郵送します。お振込みは、「緊急小口資金」が東社協で申請書類を受理してからおおよそ7~10営業日程度、「総合支援資金」が東社協で申請書類を受理してから3週間~1か月程度のスケジュールで行っております。

早めに相談いただくことをお勧めします。何かお問合わせがある場合は三宅島社協まで。この貸付は償還(返済)免除要件があり、2021年度または22年度に住民税非課税世帯であれば一括免除となります。

寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

沼田 信子さまより	亡夫 正一さまの香料より	組織運営・訪問介護事業のために
仁平 喜長さまより	亡妻 八重子さまの香料より	訪問介護事業のために
浅沼 等さまより	亡母 チアキさまの香料より	組織運営事業のために

福祉振興のため、大切にに使わせて頂きます。ご厚志誠にありがとうございます。



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

5月のいぶき活動

緑花活動 10・17・24・31日(全月曜日)

外出支援 20日(木曜日) 消毒作業 水・木曜日



緑化活動としてチューリップの球根を植え、坪田郵便局さんの前に置かせていただきました。ひとつ咲き始めてからあっという間に全部の花が咲きました。ひとつ咲くごとに「また咲いてる!」と嬉しそうに利用者の皆さんが教えてくれました。これから夏野菜などの季節になるため、何を植えようかみんな考えています。

ちけん通信

Vol.25 これからの生活が不安です。相談にのってもらえる?

Q.

心の病気になりました。これからの生活が不安です。ちけんで相談にのってもらえますか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

ご相談ありがとうございます!ちけん担当のヤナガワです。体調はその後いかがでしょうか。これからの生活について不安があるとのことですが、「ちけん」では皆さんが抱えていらっしゃる心配ごとについて、お話を聞かせていただいています。お話の内容で「ちけん」で対応させていただけることなのか、ほかの福祉や医療サービスが必要なのかを一緒に考え、お手伝いさせていただければと思います。電話やメールなど、ご希望の形に合わせてお話を伺いますので、お気軽にご相談ください。どうか今はゆっくりご静養なさってください。ご回復を心よりお祈り申し上げます。



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

